

パブリックコメント ご意見一覧

| 番号 | ご意見のタイトル | ご意見要旨 | 本市の考え方 | 計画への反映状況 |
|------------|-----------|---|---|----------|
| 全体 | | | | |
| 1 | がん対策全体 | がん対策は今後もぜひ推進してほしいと思います。 | 今後も推進していきます。 | 反映済み |
| 2 | 基本理念 | 基本理念をこれからも市民のために継続してください。 | 基本理念については、静岡市がん対策推進条例の前文をもとに作成したものです。今後も継続していきます。 | 反映済み |
| 小分野「予防の推進」 | | | | |
| 3 | 予防の推進 | 予防の推進が大事だと思います。それには、定期検診や毎日の生活習慣を気をつけていきたいと思っています。 | 本市でもそのように考えております。 | 反映済み |
| 4 | 予防の推進 | がんになってからの対策ではなく、ならないことが大事です。なぜそもそも日本人にがんが多いのか？他の先進諸国は減少に転じているのに何故か？といったところからの考察が必要です。予防の推進は大事ですが、例に挙げられた対策だけでは残念ながらがんは減らないと思われます。 | 日本でがんが増加している要因はいろいろあげられておりますが、他の先進国と比較して高齢化が進んでいることが、大きな要因になっているようです。さらに、他の先進国では日本と比較して、ワクチン接種率や検診受診率が高いことが、がんの減少につながっています。したがって、本市においても、同様にワクチン接種率と検診受診率を上げていくことで、がんによる死亡者数を減少させていくことを考えております。 | 反映済み |
| 5 | 食生活改善 | 食生活改善について、市の農林水産物と絡めたPRをお願いしたいです。 | 食生活の改善は、食育がベースになります。別に定める「食育推進計画」の中で食生活の改善と地産地消の推進を進めていきます。 | その他 |
| 6 | HPVワクチン接種 | 子宮頸がんワクチンの相談をどこにすればいいかわからなかった。 | 本市では、HPVワクチンに関する御相談を保健予防課で受け付けています。HPVワクチンの接種対象者に対しては、保健予防課の連絡先を記載した接種の案内文を送付しています。今後も、わかりやすい情報提供に心がけていきます。 | 今後の参考 |
| 7 | HPVワクチン接種 | HPVワクチン接種による予防効果は十分に理解しているのですが、ワクチン接種による副作用を心配して接種に踏み切れません。 | 本市ホームページではHPVワクチンの接種をお考えの方のためのページと、HPVワクチンの副反応、健康被害についてお知りになりたい方のためのページを公開しています。ページ内には、厚生労働省作成のリーフレットや、HPVワクチン接種後に起こり得る症状、接種後に症状が生じた方に対する相談窓口等を掲載していますので、御参照ください。 | 今後の参考 |
| 8 | HPVワクチン接種 | ワクチンには必ず副作用・副反応がある事、医師は副作用・副反応への無理解からなかなかそれと認めない事、救済申請まで出来ても簡単には通らない事を予め知っておくべき。国が勧めるワクチンでも接種は自己責任なのだと知っておくべき。実際の副作用・副反応について伝え理解させるべき。そこまでやって接種するしないの判断を自己責任とさせるべき。 | ワクチンに限らず全ての医薬品について副反応が起こる可能性を排除できない点、ご意見のとおりです。予防接種法に基づく健康被害救済制度の認定にあたっては、申請にかかる疾病等と予防接種との因果関係について、厳密な医学的な因果関係までは必要とせず、接種後の症状が予防接種によって起こることを否定できない場合も対象とするという考え方に基づき、厚生労働省において審査が行われています。本市では、本市ホームページにHPVワクチンの接種をお考えの方のためのページと、HPVワクチンの副反応、健康被害についてお知りになりたい方のためのページを公開しています。ページ内には、厚生労働省作成のリーフレットや、HPVワクチン接種後に起こり得る症状、接種後に症状が生じた方に対する相談窓口等を掲載しています。また、HPVワクチンの接種に関し、有効性とリスクを十分に理解した上で受けるかどうか御判断いただくよう御案内しています。 | 今後の参考 |

| 番号 | ご意見のタイトル | ご意見要旨 | 本市の考え方 | 計画への 反映状況 |
|----|-----------------------------------|---|---|--------------|
| 9 | HPVワクチン接種・ 勧奨について | 非常にいい取り組みだと感じております。費用面(対象年齢の方は無料で受けられる)や必要性についてはまだ認知が少ないのではないかと感じております。地域の小児科や産婦人科の先生からの呼びかけなどが重要ではないでしょうか。具体的な方針についても今後お聞きしたいです。 | 本市では、接種対象者に対し個別に郵送で案内をお送りし、対象年齢であれば無料で接種できることの周知を図っています。また、本市ホームページではHPVワクチンの接種をお考えの方のためのページと、HPVワクチンの副反応、健康被害についてお知りになりたい方のためのページを公開しています。ページ内には、厚生労働省作成のリーフレットや、HPVワクチン接種後に起こり得る症状、接種後に症状が生じた方に対する相談窓口等を掲載しています。個別案内には、市ホームページへアクセスできるQRコードを掲載しています。さらに、地域の先生方にはかねてから接種対象者への呼びかけ、接種に際しての相談への対応など、接種に関する御協力をいただいております。今後とも継続して御協力をお願いしていきます。 | 今後の参考 |
| 10 | HPVに起因する子宮頸がんを感染症として一般の方はイメージできるか | 今回、HPVワクチンに関する記載が追加されましたが、HPV感染に起因する子宮頸がんを一般的の人が感染症として捉えているか気になりました。HPVワクチン接種を感染症対策と言うのかも含めて専門家の意見を踏まえて適当な表現としていただければと思います。(実際には感染症になるのかなとは思いますが、個人的には感染症というとコロナやインフルのようなものをイメージしてしまいます。) | ご意見のとおり、感染症というと、新型コロナやインフルエンザをイメージされる市民が多いと考えます。本市も、子宮頸がん自体を感染症とは認識しておらず、HPV感染に起因する子宮頸がんを減らすために感染症対策が必要であると考えております。表現については、国及び県のがん対策推進計画においても「感染症対策」としているため、整合を図る観点から、本市の計画についても、今回は原案どおりとしたいと考えます。 | 今後の参考 |
| 11 | 予防の推進 | 体質改善が絶対大切だと思う。 | 食事や運動、生活習慣の見直しによる病気になりにくい体づくりは基本となります。食育による啓発をしていきたいと考えております。 | 反映済み |
| 12 | 予防の推進 | みなさん毒が溜まっていると思う。活性酸素たまる。デトックスが大切と思う。 | | 反映済み |
| 13 | 予防の推進 | 症状・病の原因を良く見たり、患う前の原因対策、予防が大切だと思う。 | | 反映済み |
| 14 | 予防の推進 | 冷えに目を向けることが最も大切。すべての機能低下につながると思う。 | | 反映済み |
| 15 | 食生活改善 | 食べ物で体が変わってしまう。 | | 反映済み |
| 16 | 予防の情報発信 | がん予防の情報発信を充実して下さい。 | 情報発信を充実させていきます。 | 反映済み |
| 17 | 予防・早期発見の推進 | もっと意識してもらえる何かがあるといいです。 | 無関心層にもアプローチできるような試みを検討しています。 | 反映済み |
| 18 | 受動喫煙対策 | 喫煙場所と禁煙場所をより分かりやすくし、取締強化 | 事業所や飲食店における分煙の実施による受動喫煙の防止を、一層強化していきます。 | 反映済み |

| 番号 | ご意見のタイトル | ご意見要旨 | 本市の考え方 | 計画への反映状況 |
|--------------|--------------------|---|--|----------|
| 小分野「早期発見の推進」 | | | | |
| 19 | がん検診を増やしてほしい | 職場の検診で乳がんが見つかり手術しました。アパート住まいで町内会には入っていません。家にがん検診の案内は届いたことがなかったように思います。たまたま私の場合は早期発見できましたが、40歳以上の女性が無料でがん検診を受けられる制度があったらいいと思いました。 | 本市では、検診メニューを案内した冊子を毎年4月号の広報紙とともに町内会を通じて全戸配布しております。また、区役所や保健福祉センターにて配架しております。冊子の内容については、市のホームページでも見る事ができます。乳がん検診については、加入する健康保険組合に検診制度がなく40歳以上の方でその年度に偶数年齢になる方が市の制度を使って受診できます。検診費用については、無料ではなく2,000円のご負担となります。 | 反映済み |
| 20 | がん検診の周知 | がん検診の重要性を周知するのが良いかなと思います。自身も今年度乳がん検診のクーポンを利用して検診をうける予定です。 | 様々な機会、いろいろな媒体にて、がん検診の重要性についてPRをしていきます。 | 反映済み |
| 21 | 膵臓がん検診も特定健診に加えてほしい | 特定健診+オプションである程度のがんを発見できるようですが、膵臓がんは自費での検診になっています。その費用も高く、また、その特定健診がある事も、自分が膵臓がんになって初めて知りました。発見しにくいがんと聞きますし、ぜひ特定健診で安く受診出来たらと思います。 | 行政が実施する検診は対策型検診といって、罹患者数がある程度多く、適切な検診方法が確立しているがんに限られております。このような理由により、膵臓がんについては、行政が実施する検診に含むことは、現段階では考えておりません。今後は、国の動向を踏まえ判断していきます。 | 反映しない |
| 22 | がん検診の費用 | 検診項目にないがんに対する検診費の補助がほしい。例えば膵臓がん。 | | 反映しない |
| 23 | がん検診の費用 | がん検診の費用は、検査も含めて、健康診断も含めて保険適用にしてほしいです。 | 保険診療は、自覚症状がある場合となりますので、健康な方を対象とする検診は、保険適用とはなりません。 | 反映しない |
| 24 | 早期発見のための検査 | 早期に発見できる検査があればいい。 | がんは、自覚症状がないため、定期的に検診を受診していただくことで早期発見が可能となりますので、自覚症状がなくても定期的に受診していただくことが重要です。 | 反映済み |
| 25 | 早期発見・早期治療 | 基本は早期発見です。 | | 反映済み |
| 26 | 早期発見の推進 | 特に早期発見の推進に力を入れてほしい。 | | 反映済み |
| 27 | 早期発見の推進 | 早期発見に力を入れてください。 | | 反映済み |
| 28 | 早期発見の推進 | 9年前、特定健診で大腸がんの検診を受けたところ、陽性反応が出た。手術し、「早期S状結腸がん」との診断。早期のため、きれいに切除でき、転移の心配もないとのこと。夫も健康診断でがんが見つかったが、早期のため大事に至っていない。つくづく早期発見が大事と痛感。ぜひ受診の勧奨を広くするべきだと思う。 | 早期発見のために、定期的ながん検診の受診の必要性をPRしていきます。 | 反映済み |
| 29 | 早期発見の推進 | 早期発見のための受診率向上の為の具体的な方策の策定をする | 検診を受診することの大切についての教育・啓発に始まり、受診環境の整備、検診PR、託児付き検診、サンデー健診など総合的・具体的な施策を実施していきます。 | 反映済み |
| 30 | 早期発見の推進 | 若年層の方たちの、がん知識を深める意識の低さが気になりました。もっと身近な事として受け止められるようになればいいように感じます。 | ご家族にがんになった方がいる方以外は、若年層への周知はなかなか難しいと思います。がん教育によりしっかり周知・啓発していきたいと思えます。 | 反映済み |

| 番号 | ご意見のタイトル | ご意見要旨 | 本市の考え方 | 計画への反映状況 |
|----|------------------------|---|--|----------|
| 31 | 早期発見の推進 | がんを減らすために、様々な取組が行われており、厚労省も患者のレセプトデータと特定健診データを一元化して、ビッグデータを早期発見、早期治療に結びつける取組を行っている。 静岡市は、国保患者を中心に市民に対してこのような取組を行っているかと思うが、特定健診の受診者が多くない場合もあるので、できるだけたくさんの市民のビッグデータを集めて、分析を行い、がんの早期発見に努めてほしい。 | レセプトデータや検診結果データの分析は非常に重要だと思います。分析結果を基に施策を考えていきたいと思っています。 | 今後の参考 |
| 32 | がん検診普及 | 広報戦略の高度化 ・マスメディア媒体 ・SNS発信 ・民間との協力推進 | 無関心層にも届くように、民間企業と連携した取り組みを強化していきたいと考えています。 | 反映済み |
| 33 | 早期発見の重要性を訴えるテレビCM・新聞広告 | ポスター等ではなく、より多くの人の目に入るように早期発見の重要性を訴えるテレビCMや新聞の大きな広告を展開。そこに検診受診方法や相談窓口を掲載。対がん協会のがん予防チラシの久保ひとみさん等インパクトがあり、かつ単発・短期間ではなく、継続して打てるCM・広告がよいと思います。(いろいろとハードルがあるかもしれませんが…) | テレビCMや新聞の大きな広告は、予算上実現が難しいと考えていますが、デジタルサイネージ等を活用し、継続して根気よくPRしていきたいと思っています。 | 反映済み |
| 34 | がん検診はどこまで進歩しているか | 最先端のがん検診は、どこで受けられ、どこまでわかるのか知りたいです。 | 最先端のがん検診は、主に静岡市立静岡病院などの拠点病院で実施しています。どこまでわかるかは、それぞれの医療機関にお問い合わせください。 | その他 |
| 35 | がん検診の受診勧奨・費用 | 若年層に発生しやすいがんは進行が速いものが多いが、一方で若年層はがん検診を受ける機会が少なく、結果として重症化してから発見されるケースが多い。行政からの若年層へのがん検診の受診勧奨の強化や、受信料の一部もしくは全額負担等の助成をしていただきたい。 | 行政が実施する検診は、対策型検診といって全体の死亡率を下げる効果が確立しているがん検診に限られます。若年層はがんの罹患率が低いことから、対策型検診の対象から外れます。(例外として、子宮頸がんは罹患年齢が比較的若いため20歳以上の女性が対象となります。)したがって、若年層を対象にしたがん検診の実施や助成は、今のところは考えておりません。 | 反映しない |
| 36 | がん検診の受診勧奨 | 「成人健診まるわかりガイド」の活用が不十分と思われる。知人・友人にガイド(冊子)の話をして通じません。個人的に「冊子に詳しく載っているので参考にしたらどう？」と声かけしています。以前のように個別案内の方が断然受診率は上がると思います。 | 「成人健診まるわかりガイド」は、市内に全戸配布しておりますが、町内会に加入されていない方には届いていないという現状があります。市が実施するがん検診は、加入する保険組合に制度がない方を対象としており、市で対象者全ての把握ができないという事情があり、個別の案内送付は今のところ考えておりません。 | 反映済み |
| 37 | がん検診の受診勧奨 | サンデー健診を受けた者です。当該健診についても「広報等」での周知方法では無理があるように感じました。早期発見の推進をするのであれば、地道かもしれませんが、個別案内にしないかぎり「関心率・受診率」の向上は望めないと思います。 | | 反映済み |
| 38 | がん検診の周知 | 女性がん検診の重要性をもっと伝えてほしい。 | 乳がん・子宮頸がんは、罹患年齢が比較的若いということもあり、罹患するとライフステージに大きな影響があることから、重要性を伝えていきたいと思っています。 | 今後の参考 |
| 39 | がん検診の周知 | がん検診を受けやすいようにもっと身近に感じられる呼びかけ | 行政からの呼びかけも大切ですが、自分の身近な方から呼びかけられるようにしていきたいと考えています。 | 今後の参考 |
| 40 | がん検診の周知 | 「がん検診」の必要性を感じない人も多い。 | 無関心層にもアプローチした取り組みを考えていきたいと思っています。 | 反映済み |
| 41 | がん検診の周知 | がん検診やセミナー動画をLINEで欲しい。 | 現在、動画配信は行っておりませんが、今後検討していきます。 | 今後の参考 |

| 番号 | ご意見のタイトル | ご意見要旨 | 本市の考え方 | 計画への反映状況 |
|----|-----------------------|--|--|----------|
| 42 | がん検診の周知 | がん検診のPR(費用や頻度等) | 成人健診まるわかりガイドの全戸配布や町内会の回覧版、ホームページ、市のLINEやX(旧Twitter)など様々な媒体を使ってPRしていきます。 | 反映済み |
| 43 | がん検診の周知 | がん検診(女性がん検診)が受けられる場所や費用の周知をもっとしていったらいいのではないかと思います。 | | 反映済み |
| 44 | がん検診の周知 | 検診の広報徹底 | | 反映済み |
| 45 | がん検診の受診勧奨(がん検診受診率の向上) | 健康診断の必須項目にして、それぞれの年齢に達した年の健康診断から受診を義務づければ色々な手立てを模索せずとも、受診率は100%になるのではないかと。どうしても受診したくない人がいる場合は、受診を拒否するのにはやむを得ない事情がある場合のみ、受診拒否を認める。現在の能動的ながん検診では、結局のところ、市民一人ひとりの健康意識、がんへの危機感など、個人の判断に委ねられてしまうので、検診率の向上には限界がある気がするので、受動的に検診する体制にしてしまう方がいいように思います。 | がん検診等の健康診断は加入する健康保険組合が実施するものがベースとなります。そのほか、個人で人間ドックを受ける方もあります。そういったことから、義務化は難しいと考えております。検診の重要性やメリット・デメリットを理解したうえで自らの意思により、受診することが大切だと考えます。 | 反映済み |
| 46 | 検診受診促進 | がん検診受診を健康診断と一緒に受けるようにする。時間が無い方が多いです。 | 特定健診や後期高齢健診と合わせて受診できる医療機関を増やしていきたいと考えています。 | 反映済み |
| 47 | がん検診の体制 | 多くの人が気軽に受診できる体制づくり(具体的に) | 受診できる医療機関数をできるだけ増やすことで、多くの方が気軽に受診しやすい環境を作っていければと思います。 | 反映済み |
| 48 | がん検診の体制 | 若年層から会社でがん検診が受けられるような取組 | 職域でのがん検診は、その会社の健康保険組合が所管となります。職域でのがん検診の充実には、日本のがん検診の課題の1つとされています。 | その他 |
| 49 | がん検診の体制 | 高齢者検診時、胃カメラの予約が取れないことが多い。 | 人気の健診センターでは、予約が取れにくい状況となっております。内視鏡医の確保が難しいと聞いております。個人クリニックでは、比較的予約が取りやすい状況だと思っておりますので、ご希望の健診センターで予約が取れない場合は、クリニックでの受診をお願いします。 | 反映済み |
| 50 | がん検診の体制 | がん検診の可能な場所、予約の仕方など、もっと手軽で、もっと分かりやすい形式にしたらより検診がすすむのではと思います。 | 成人健診まるわかりガイドから受診する医療機関を選んで、電話で予約して受診していただくしくみとなっております。受診の仕方についてもしっかりPRしていきます。 | 反映済み |
| 51 | がん検診の体制 | がん検診支援クーポンの発券(5年に1回、3年に1回等) | 現在、国の施策により、子宮頸がん検診は21歳の方に、乳がん検診は41歳の方を対象に無料クーポン券を送付しております。 | 反映済み |
| 52 | がん検診の体制 | 女性がん検診の20代、30代への推進強化 | 子宮頸がん検診は、20歳から対象となりますが、20代30代は受診率が低い状況ですので、受診勧奨を強化していきたいと考えています。 | 今後の参考 |
| 53 | 検査 | ペット検査をもっと安く多くの方に受診できるようにやってほしい。 | ペット検査は、行政が実施する対策型検診の検診方法ではないため、今のところ考えておりません。 | 反映しない |
| 54 | 企業へのがん検診訪問 | お仕事で忙しい人向けに企業と提携してお昼休みに検診等を受けられるようにする。 | お勤めされている方は、受診日の確保が難しいと思われます。お昼休みだと時間が限られますので、日曜日に受診できる「サンデー健診」の回数増やしていきたいと思っております。 | 反映済み |

| 番号 | ご意見のタイトル | ご意見要旨 | 本市の考え方 | 計画への反映状況 |
|----|-------------------|--|--|----------|
| 55 | がん検診の体制 | がんは早期発見・早期治療が大事だと思います。会社員の方は健康診断がありますが、自営業、個人事業主、高齢者は特定健診等の受診をしてわずかな手がかかりを見出していく必要があると思います。市から届く検診可能な医療機関は何度電話しても繋がらず、結局飽和状態ではないかと思っています。受診人口と受入態勢はバランスが取れているのか疑問に思っています。今年初めての所で検診を11月に受けました。 | 一部の人気の健診センターでは、予約が取りにくい状況となっておりますが、医療機関によっては、かなり空きがみられるところもあります。また、個人のクリニックでは比較的受診しやすい状況となっております。ですが、人間ドックのように1度にまとめて多くの検診を受診できる施設のニーズは高いので、そういった施設を増やしていきたいと思います。 | 反映済み |
| 56 | 色々ながん検診の充実 | 女性がん等は検診を推奨しているが、他のがんを調べる機会がないため、色々ながん検診の充実が必要だと思う。 | | 反映しない |
| 57 | がん検診の対象年齢 | 女性がん検診の年齢制限をなくし、毎年受診できるようにして欲しいです。 | 国の指針により、子宮頸がん検診、乳がん検診は2年に1回受ければよいこととされております。 | 反映しない |
| 58 | がん検診の対象年齢 | がん検診を20代以上のすべての人が受けられるように、全員に支援がほしい。早期発見なのだから毎年やるべき。 | 行政が実施する検診は対策型検診といって、有効な対象年齢や受診間隔が国の指針で定められております。 | 反映しない |
| 59 | がん検診の対象年齢 | どの年代でもがん検診ができるようにした方がいいと思います。 | | 反映しない |
| 60 | がん検診の対象年齢 | 若年層もがんのリスクはあるので、助成金もあることから、女性がん検診の対象年齢を引き下げてほしい。 | | 反映しない |
| 61 | がん検診の対象年齢 | 女性がん検診の検診推奨年齢を引き下げ | がん検診は国の指針で対象年齢が定められております。子宮頸がんは20歳以上、乳がん検診は40歳以上となっております。今後は、国の動向を踏まえ判断していきます。 | 反映しない |
| 62 | 乳がん検診の対象年齢を上げて欲しい | 乳がん検診の対象年齢を広げてほしい。個人的に病院で受診すると、金銭面の負担だけでなく「なぜその年齢で検診？」といわれる等よけい足が遠のく。 | | 反映しない |
| 63 | 女性がん検診の若年層への手当 | 40歳以下の女性も何年に1回は受診できるように。 | | 反映しない |
| 64 | 検診の費用・体制 | 受診料、受診日等の融通性 | 検診の自己負担金については、固定となっておりますが、一般的な価格の1割から2割程度でかなりお得な金額となっております。受診日については、受診される医療機関との調整になります。 | 反映済み |
| 65 | 無料のがん検診 | がん検診の無償化と周知をいただきたいです。 | 現在、一般的な検診費用の1割～2割程度の金額で受診が可能です。大腸がん検診については、特定検診と同時受診で無償化としています。その他のがん検診については、無償化は今のところ考えておりません。 | 今後の参考 |
| 66 | がん検診の費用 | がん検診を無料でできるようにする。 | | 今後の参考 |
| 67 | 早期発見のための交流会・勉強会 | 早期発見のために、がん患者ではない人の交流会や勉強会があれば良いと思います。 | がん教育や啓発活動を実施していきます。 | 反映済み |
| 68 | 検診の優先受診や費用 | がん家系(身内の多くが、がんに罹患している。)の人達が優先的に検診を受けられ、検診費用を市や県で助成していただけると有り難いです。 | がん家系の方に限らず、多くの方が少ない自己負担額で受診できる制度となっております。 | 反映済み |
| 69 | がん検診の年齢別の周知 | 年齢による受診部位毎の啓発 | 国の施策で、子宮頸がん検診は、21歳になる方に、乳がん検診は、41歳になる方に無料クーポン券を送付しています。大腸がんは40歳以上が対象となる特定健診の受診券に同時受診で無料になることをPRしたちらしを同封しております。肺がんは65歳以上の方に、受診票を送付しております。 | 反映済み |

| 番号 | ご意見のタイトル | ご意見要旨 | 本市の考え方 | 計画への反映状況 |
|------------------------|-----------------------|--|--|----------|
| 小分野「がん教育とがん予防の普及啓発の充実」 | | | | |
| 70 | がんの予防と早期発見の推進 | 計画を市民に周知するため、①インターネットで簡単にできるチェックリストにより自分のリスクを知る。(何をすべきか、何に気をつけるかの気づき)②フローチャートを使って相談窓口や支援内容を知る。③がんになり患した事例のマンガや動画配信などにより早期発見、検診の重要性を自覚してもらう。といったものがあればいいと思います。チェックリスト・フローチャートは、ホームページはもちろんです、広報紙の一面を使うくらいインパクトがあるものを作ってほしいです。 | 計画を市民に周知するため、計画の要点をまとめた概要版を作成します。同概要版には、市民(大人)へのがん教育のためのチェックリストやフローチャートを併せて掲載します。 また、動画については、罹患者や医療関係者の協力を得て、R5年11月下旬に新たに作成し配信を開始しました。 今後も周知に努めていきます。 | 反映する |
| 71 | がん教育の推進 | がん教育は大事で、何より自己免疫力を強化する事が一番のがん予防だとしてしっかり教えるべき。そして、ワクチンより先ず検診を受ける事が大事だと伝えるべき。 | がんの罹患は、自己免疫力も関係しますが、単純に老化現象とも言えます。子宮頸がんなどワクチンがあるものについては、まずワクチンを接種することが大事で、検診の対象年齢となつてからは定期的な検診受診がとても重要です。ワクチンより検診ということではなく、ワクチン接種と検診受診の両輪が大切であると考えます。 | 反映済み |
| 72 | がん教育の推進 | (ワクチンに関する)教育ではリスクとベネフィットをどちらも正確に伝える事が大事です! | 本市ホームページではHPVワクチンの接種をお考えの方のためのページと、HPVワクチンの副反応、健康被害についてお知りになりたい方のためのページを公開しています。ページ内には、厚生労働省作成のリーフレットや、HPVワクチン接種後に起こり得る症状、接種後に症状が生じた方に対する相談窓口等を掲載しています。 また、出生時にお送りする定期予防接種の御案内には、予防接種により予防できる疾病の特徴やワクチンの副反応について掲載された冊子「予防接種とこどもの健康」を同封し、予防接種のリスクとベネフィットについての御理解をお願いしています。 | 今後の参考 |
| 73 | がん教育の推進 | 自分の場合、乳がんですが、娘(小学生)がいるので、遺伝が心配です。なので、学校などでもがんの予防について学ぶ機会があるといいなと思います。 | | 反映済み |
| 74 | がん教育の推進 | 身内が胃がんや子宮頸がん等になっており、がんの知見が深まっている中、それらを生きた頃から学んでいると、生活習慣やがん検診の大切さを理解してくれると思う。 | 小中学校においては学習指導要領に基づくがんに関する授業やがんを予防する生活習慣の普及啓発等の教育活動を、各学校の計画に基づいて実施しています。 今後もこれらのがん教育を推進していきます。 | 反映済み |
| 75 | がん教育とがん予防の普及啓発の充実 | 高齢化の進行や医療の発展に伴い、「がん」は特別な病気ではなく全ての人にとって身近な病気になっていると思います。 そのため、学校教育の中で「がん」に対する正しい知識を身に付けることで、生活習慣の改善や自分が患者となった際の生活についての心構えが出来れば良いと思います。 | | 反映済み |
| 76 | がん教育、がん予防の普及啓発の充実について | 小学校での喫煙リスクや薬物の危険性についての講義は今でも記憶に残っていて、絶対にしないようにしようと思いました。学童期から健康への意識や、がんという病気と闘病する人がいる実際を知ること、生きていく上で健康への関心や闘病者への思いやりに繋がると思います。 | 小学校での講義が記憶に残り、その後の意思決定に繋がっていることを知り、学校における普及啓発の成果であると認識しております。今後も、喫煙防止教室等がんを予防する生活習慣の普及啓発に努めていきます。 | 反映済み |
| 77 | がんに関する知識 | 知らない事ばかりです。もっと積極的に情報を集めなければと思いました。 | より多くの方に届くように継続して情報発信に取り組んでいきます。 | 今後の参考 |
| 78 | がんの予防・早期発見の周知 | がんは若年層でもかかってしまうこと、早期発見できれば完治できること、日頃から食生活の改善で抑止できること等を周知していく必要がある。 | がん教育により、教育・啓発を行うことで、周知してきたいと思ます。 | 反映済み |

| 番号 | ご意見のタイトル | ご意見要旨 | 本市の考え方 | 計画への反映状況 |
|---------------------|---------------------|--|--|----------|
| 小分野「相談体制・情報提供体制の充実」 | | | | |
| 79 | しずおかし がんガイドブック | 静岡市のがんガイドブックは情報がたくさんあり好評です。 | 患者やその家族等にご活用いただけるように、引き続き周知を図ります。 | 反映済み |
| 80 | 市民(大人)へのがん教育の推進について | 私は20代男性ですが、がんへの心配はまだ先のことだろうと漠然と考えてしまっています。若年層でもがんにかかる可能性があることについて、自分事としては捉えられておらず、また自分以外に家族がかかったときのことなど、知らないことは多いと感じています。がんについて学べる機会があればぜひ参加したいと考えさせられました。 | ご意見を踏まえ、市民ががんを自分事として捉える必要性について追記しました。(計画P47) ご自身だけではなくご家族のためにも、がんについての知識を身に付けていただけるよう取り組んでいきます。 | 反映する |
| 81 | がんに関する意識 | 一般社会の人事のような対応が悲しいです。 | ご意見を踏まえ、市民ががんを自分事として捉える必要性について追記しました。(計画P47) | 反映する |
| 82 | がんに関する意識 | まずはがんにかかるリスクを自分事としてとらえる必要があると思います。 | | 反映する |
| 83 | がんに関する意識 | 若者のがんに対する意識を向上させてほしい。 | | 反映する |
| 84 | がんに関する意識 | (意見提出者の会社の)アンケートを通して「がん」に対する興味・関心がある人が少ない。 | | 反映する |
| 85 | がんに関する知識 | がんに対する知識を得る機会がもっと多くなればよいと思う。 | ご意見を踏まえ、市民ががんについて知る機会を増やす旨を追記しました。(計画P47) | 反映する |
| 86 | がんに関する知識 | がんについてもっと知る機会を作るようにする。 | | 反映する |
| 87 | がんに関する知識 | がんそのものの正確な情報の公開公表 | | 反映する |
| 88 | がんに関する知識 | がん対策は、がんになってから知ったことが多かったので、その前に知識として知っておくと、実際になった時に、とまどわずにすむ。 | ご意見を踏まえ、がんにかかる前から知識を身に付ける必要がある旨を追記しました。(計画P47) | 反映する |
| 89 | がんに関する知識 | がんと聞くと、もう治らない、死ぬ病気だと思っている人がまだまだたくさんいます。ちゃんと治療をして元の生活に戻ることも可能だということをもっと多くの人に知ってほしい。がんと聞いただけであきらめてしまって、何もしたくないとなるのが一番困る。 | 今回の計画の見直しで、がんに関する正しい知識の普及啓発を追加します。ご意見を踏まえて、計画概要版にがんになった後の生存率についても掲載します。 | 反映する |
| 90 | がんに関する知識 | 女性がんの特有であることを、もっと幅広い世代の方に知っていただけるように心がける。 | ご意見を踏まえ、計画概要版に女性がんを含めて掲載し、普及啓発していきます。 | 反映する |
| 91 | 市民(大人)へのがん教育 | 学生向けに加えて社会人(特に20代や30代)向けの教育機会を増やしてほしいと思います。正しい知識を習得することによって、がんに対して漠然とした不安を解消できる雰囲気醸成できると良いと思います。健康保険組合や従業員組合、企業団体に対して行政機関主導で声掛けを行っていただきたいと考えています。 | 今回の見直しで、大人へのがん教育を追加しています。実施にあたっては、いただいたご意見を参考にいたします。 | 今後の参考 |

| 番号 | ご意見のタイトル | ご意見要旨 | 本市の考え方 | 計画への反映状況 |
|-----|-----------|--|---|----------|
| 92 | がんセミナー | がんに関するセミナーを開いて(教授や生命保険会社)がんになることに関して危機感をもってもらう。 | 市政出前講座や生涯学習施設におけるがんに関する講座を実施しています。併せて、令和5年度から、企業向けの仕事と治療の両立支援セミナーを開始しました。今後セミナーの内容や日時について検討するとともに、周知に継続して取り組んでいきます。 | 今後の参考 |
| 93 | がんセミナー | がんの勉強会、セミナー開催 | | 今後の参考 |
| 94 | がんセミナー | 2人に1人がかかると言われていますが、なかなか自分がかかるというイメージがわきづらいので、セミナーや情報提供が必要だと思います。 | | 今後の参考 |
| 95 | がんセミナー | 市役所がんセミナーの開催 | | 今後の参考 |
| 96 | がんセミナー | がんセミナー等を働く世代の方々が受けやすいような日時に開催してもらえたらと思う。 | | 今後の参考 |
| 97 | 不安解消の場 | がんになった時の不安を解消できる場が色々なところにあること、がんになってわかりました。 | がんに関する相談ができるがん相談支援センターの周知や同じ経験をもつ方々の交流会の場の提供など、がんと診断された方に寄り添えるよう取り組んでいきます。 | 反映済み |
| 98 | 相談体制 | 精神的に、経済的に、不安しかないけれど、少しでもその不安を取り除いてくれる相談体制、医療体制ができていて、是非安心して住める静岡市にしてほしい。 | がん患者やその家族に寄り添えるように、患者やその家族を相談窓口へ導くとともに、支援についての情報提供を継続して進めていきます。 | 反映済み |
| 99 | がん患者の心情 | がんになった時、誰でもどの年の方でも頭がまっしろになると思います。 | | 反映済み |
| 100 | 不安解消の場の周知 | みなさんに、がんになった時の不安の解消場所をわかっていただきたいですね。 | | 反映済み |
| 101 | 相談・支援の必要性 | 治療のこと、経済的なことなどアドバイスや支援があれば心強いと思います。 | 市内の相談窓口、医療費や生活費の支援制度、治療についてなどがんと診断された方に役立つ情報を1冊にまとめたガイドブックを配布するとともに、ホームページで公開しています。今後も情報提供に努めます。 | 反映済み |
| 102 | 相談・支援の必要性 | がんになり、今後の進捗や末期への情報がなく(医師も含め)現在の自分のやるべき事、心積もりのヒントがなく無防備な状態におかれている。 | | 反映済み |
| 103 | 相談体制の周知 | 気軽に相談できる所がわかるようにしてほしい。 | 今回の計画の見直しで、相談窓口の周知について追記し、周知を進めていきます。ご意見を踏まえて、計画概要版にも相談窓口について掲載します。 | 反映する |
| 104 | 相談体制 | 相談窓口を増やし、支援を検討できることを望みます。 | 市内には、がんに関する相談が誰でも無料で、電話でもできる相談窓口が5カ所あります。まずは、現在ある相談窓口の認知度向上を目指し、患者やその家族を相談窓口へ繋げていきたいと考えます。 | 今後の参考 |
| 105 | がん患者支援の充実 | 近年40代のがん患者が増えています。公的支援・制度が充実できるといいと思います。長期的経済負担をかかえている人が多いと感じます。 | 市内の相談窓口、医療費や生活費の支援制度、治療についてなどがんと診断された方に役立つ情報を1冊にまとめたガイドブックを配布するとともに、ホームページで公開しています。また、治療と仕事の両立についても、企業への従業員の就労環境の整備に関する働きかけと、市民への理解促進について取り組んでいきます。 | 反映済み |

| 番号 | ご意見のタイトル | ご意見要旨 | 本市の考え方 | 計画への反映状況 |
|-----|---------------|---|---|----------|
| 106 | 治療と仕事の両立支援 | 労働人口が減少していくので、治療と仕事の両立支援に力を入れてほしいです。 | 企業への従業員の就労環境の整備に関する働きかけと、市民への理解促進について取り組んでいきます。 (計画P50、P67) | 反映済み |
| 107 | 治療と仕事の両立支援 | がんになっても、働き盛りの人が働ける環境が保証されることを望みます。政策としてというより、各企業の課題かもしれませんが。職場によっては、理念は大きく、現実には働きにくくなる場合もあると思います。企業への啓発があれば違うのかなと感じます。 | | 反映済み |
| 108 | 患者への支援と就業先の理解 | 罹患した場合のケア、就業先での環境整理や職場(経営者)の理解が重要だと思う。 | | 反映済み |
| 109 | 治療と仕事の両立支援 | 企業へのがん対策基本法の重要性、治療と仕事の両立の周知 | | 反映済み |
| 110 | 健康経営 | 健康経営の推進(認定取得企業へのインセンティブ付与) | 本市を含む全国において、厚生労働省による「がん対策推進 企業アクション」が進められており、推進パートナー登録をすることで、従業員が安心して働ける環境づくりや生命の大切さを伝える企業姿勢により、ブランドイメージ向上等の効果があります。さらに、無償で推進パートナーロゴマークを使用できます。今後も仕事と治療の両立支援に取り組んでいきます。 | 今後の参考 |
| 111 | 就労者の相談体制 | 就労を継続しながら治療行っている人が相談できる窓口を充実させることは重要だと思います。昼間の時間帯に相談窓口を訪れることが困難な人もいるかと思うので、SNSなどを活用した気軽に相談できるツールなども取り入れ、治療に励む方が孤独にならないような仕組みを期待します。 | 働く方のための治療と仕事の両立を含めた相談については、夜間に相談窓口を設けています。併せて、夜間・休日を含めた24時間、メールでの相談を受け付けています。(お問合せフォーム)引き続き、相談窓口に関する情報が必要な方に届くよう取り組んでいきます。 | 今後の参考 |
| 112 | 情報提供 | 自分の課ではなくても、こんなものがあると教えていただくのがとても心がたすかります。 | がん患者やその家族対象の支援や相談窓口に関する情報について、関係機関や市役所内の関係課にも情報共有を進めています。今後も継続して取り組んでいきます。 | 反映済み |
| 113 | 情報提供 | 治療後のフォローの情報発信を充実して下さい。 | | 反映済み |
| 114 | 県内の病院 | 静岡県内のどこの病院がどんながんや治療に強いのかどうか簡単に知ることができると嬉しいです。 | 医療機関については、県が運営している「医療ネットしずおか」で、診療科目、セカンドオピニオンへの対応状況などの条件を付けて検索することができます。「医療ネットしずおか」はR6年3月末で終了し、国が運営する全国統一の医療情報ネット(仮称)に以降する予定ですので、R6年4月からはそちらをご利用ください。今後も周知に努めていきます。 | 今後の参考 |
| 115 | 妊孕について | 若い方達は、がんと告知され短期間で治療について考えなくてはなりません。補助金などについての情報はありますが、相談できる場所を具体的に知らせることで、気軽に問い合わせができてと思います。個人的に探すのは困難と考えます。是非検討いただけたら、幸いです。 | 相談先については、妊よう性の温存も含めて、まずは市内のがん相談支援センターに患者やその家族を繋ぎたいと考えています。がん相談支援センターについて、今後も継続して取り組んでいきます。 | 反映済み |
| 116 | 対策の周知 | LINE、携帯広告の活用→対策があることを知ってもらう | 今回の計画の見直しに関するパブリックコメントについては、LINEでも発信しており、前回の約3倍のご意見をインターネットからいただいています。今後の対策の周知において、ご意見を参考にいたします。 | 今後の参考 |

| 番号 | ご意見のタイトル | ご意見要旨 | 本市の考え方 | 計画への反映状況 | |
|-----|---------------|---|---|--|-------|
| 117 | 対策の周知 | CM,町内掲示板でがん対策の存在を知ってもらう | CMではありませんが、がん対策についての動画をテレビで放映する等周知に取り組んでおります。 今後も一層の周知を図ります。 | 今後の参考 | |
| 118 | 対策の周知 | テレビCMの放映 | | 今後の参考 | |
| 119 | がん相談支援センターの周知 | がん相談支援センターが市内にあることを知りませんでした。もっと浸透するとよいと思います。 | 今回の計画の見直しで、相談窓口の周知について追記し、周知を進めていきます。 | 反映済み | |
| 120 | 相談体制の必要性 | 気軽に相談できる所がほしい。 | 市内には、がんについて、どなたでも無料で相談できるがん相談支援センターが5カ所あります。 今後も継続して、これらの周知を進めていきます。 | 反映済み | |
| 121 | 相談体制 | 自分ががんと診断された場合、相談体制が整っていても相談できないと思います。 | 相談が困難な方にも支援が届くよう、ご自身で調べられる確かな情報源の周知に取り組んでいく旨を追記しました。(計画P47) | 反映する | |
| 122 | 交流の場 | がんサロンなどが増えて支え合えるような交流の場が増えると良い。 | 令和5年度からがんサバイバー交流会を開始しました。他にも病院や患者会が開催してくださっているサロンなどがあります。 今後も交流の場を確保できるように取り組んでいきます。 | 今後の参考 | |
| 123 | 交流会の継続 | 是非 体験者との集まりを続けてほしい。 | 計画の見直し後も、がんの経験を持つ方やご家族同士の交流の機会が確保できるよう取り組んでいきます。 | 反映済み | |
| 124 | 交流会の継続 | 今後も定期的に交流会の開催を！ | | 反映済み | |
| 125 | 交流会の継続 | これからもがんサバイバー交流会の様な催しを進めていって下さい。 | | 反映済み | |
| 126 | 交流会の継続 | 交流会の充実強化を期待します。 | | 反映済み | |
| 127 | 交流会の継続 | がんサバイバーの交流会を定期的にしていただけると助かります。 | | 反映済み | |
| 128 | 体験者の心情 | サバイバー交流会に参加させていただきありがとうございました。 | | 反映済み | |
| 129 | がん患者の生命力 | 初めてがんサバイバー交流会に参加した時に、がん患者さんの生命力を感じました。 | | 反映済み | |
| 130 | 交流会への参加 | 交流会に初めて参加します。 | | 反映済み | |
| 131 | 交流会の周知 | 交流会の周知について広報紙以外でも保健センター等でチラシ入れるなど(やっていたらごめんなさい)目につきやすいアピールをしたらよいと思います。 | | 今後、交流会の周知をする際に、参考にいたします。 | 今後の参考 |
| 132 | 体験者の心情 | 体験者でなければ分かり合えないことがある。 | | 今後も、がんの経験を持つ方やご家族同士の交流機会を確保していきたいと考えております。 | 反映済み |
| 133 | 体験者の心情 | サバイバーの方々と交流すると気持ち元になります。 | 反映済み | | |
| 134 | がんフォーラム | がんフォーラムにも参加しているが、女性中心、高齢者中心の談話会で深い話がづらい。常連が多く新規の方の再訪、男性の参加者が少なく、定着しない。貴重な経験の共有ができずもったいなく(時間的に)思う。 | がんフォーラムは本市の取組みではありませんが、様々な交流の場において、女性や高齢者が多い状況にあると言われております。 いただいたご意見は、本市の交流会実施の参考といたします。 | 今後の参考 | |

| 番号 | ご意見のタイトル | ご意見要旨 | 本市の考え方 | 計画への反映状況 |
|-----------------------|----------------|---|---|----------|
| 小分野「若年がん患者・在宅医療等への支援」 | | | | |
| 135 | ウィッグの補助金 | 「ウィッグ・乳房補整具の助成」を静岡市で実施していただけて、安心しています。子育てや就労しながら治療される方にはとても重要なことなので継続していただきたいです。 | 引き続き、ウィッグ・乳房補整具の助成等、子育てや就労しながら治療される方の支援を行っていきます。 | 反映済み |
| 136 | ウィッグの補助金 | いろいろとお金がかかるのでウィッグの補助金は有難いです。 | 今後も補助金については継続できるように検討していきます。 | 反映済み |
| 137 | ウィッグの補助金 | ウィッグが意外にも高価なものだったので、安価なものの商品化(プライバシーを配慮したお店)や助成金が増えると、とても助かります。 | 本市の補助金の申請実績からみると、ウィッグの金額については、10万円を超える高価なものから、数千円で購入できる安価なものまで価格幅があります。ウィッグの助成金の上限額については、県内で最高額を設定していますが、引き続き、他市の状況等を踏まえ、本市の支援内容を検討していきます。(本市3万円、県内他市町2万円) | 今後の参考 |
| 138 | アピアランスケアについて | アピアランスケアへの支援の充実をこれからも継続してお願いいたします。 | アピアランスケアへの支援について、今後も継続していきます。 | 反映済み |
| 139 | サンタリーボックス | 公共施設の男性用トイレへのサンタリーボックス設置ありがとうございます。引き続きトイレの清潔にも気を配っていただきたら嬉しいです。 | 市の施設への男性用トイレへのサンタリーボックスの設置について、今後もできる限り拡充するよう取り組んでいきます。 | 反映済み |
| 140 | 若年がん患者の交流会 | 若年がん患者の交流会などを開いてほしい。 | 現在開催している交流会の場については、どの年代の方も出席できるようになっています。今後の交流会の場の提供にあたって、いただいたご意見を参考にさせていただきます。 | 今後の参考 |
| 141 | 若年がん患者在宅療養支援 | 在宅で今までと同じ生活を送りたい、在宅療養生活を送りたいという若年者への支援が当たり前になれる社会がいいと思います。安心できる相談の場や治療環境があると良い。この点を充実させてほしい。 | 引き続き、相談窓口の周知や在宅療養に関する補助金等により、在宅療養の支援を進めていきます。 | 反映済み |
| 142 | 若年がん患者への支援 | 若いがん末期患者さんの在宅退院を調整する時、家庭(子どもさん)のサポートなどに十分な制度がない気がしている。 | 本市では、若年末期がん患者やその家族向けに、在宅療養に関する補助を実施していません。ご意見を踏まえ、支援制度等について引き続き検討していきます。 | 今後の参考 |
| 143 | AYA世代のがん患者への支援 | 子育て世代であり、仕事と治療と子育ての両立が難しい。仕事ができないときに、保育料・給食費等の減額もしくは、補助金があると、治療しながら保育料のため、無理に仕事をしなくてもよくなるかと思いました。 | 保育料については、保護者の世帯状況や市民税額をもとに決定しており、毎年9月に見直しを行っています。傷病等により、著しい出費があった場合は、保育料の階層区分の変更を行う手続きによって減額される場合があります。また、保育料算定後に市民税額に変更が生じた場合は、当該年度の市民税額が適用される月まで遡って保育料が変更される場合があります。詳細は、担当課にお問い合わせください。 | 今後の参考 |
| 144 | 表示マーク等 | がん治療により体調が悪い時に、がん患者だと周りから見て気づいてもらえる表示マークがあると助かる。(妊婦さんのマーク等に似たようなもの) | がんに限らず、外見からは分からなくても、周囲から援助や配慮が必要であることを知らせるマークとして「ヘルプマーク」があります。区役所や一部病院などで無料で配布しています。このヘルプマークについて、今後も継続して周知に取り組んでいきます。 | 反映済み |
| 145 | がん患者の心情に配慮した支援 | がん患者は自分ががんと知られたくないけれど、電車の席を譲ってほしいなど支援してほしいことがある。 | | 反映済み |

| 番号 | ご意見のタイトル | ご意見要旨 | 本市の考え方 | 計画への反映状況 |
|-----|----------------------|---|---|----------|
| 146 | 在宅療養への支援 | <p>余談で申し訳ありませんが、緩和ケアに移った方は家で静かにしていなさいではない活動できる範囲で行動し、それが心の支えとなっています。例えば 学習意欲 講演会、図書館通い等 今日できることは今日行おうと強い意思で行動されている患者様と今出会っています。</p> <p>しかし、先日気を失うという突発的事故が起こりました。そういう人が出かけるときはマイカーで出かけます。これは危険であると思います。介護保険と連携して付き添いを頼めることは承知しています。</p> <p>一人でも 近くにさっと行ってさっと帰ってくるというときには、例えばタクシーの割引制度等があるとちょっと気軽に安心して外出できるのではないかと考えてしまいます。割引制度にも限りがあると思います。条件や回数制限等つけてもゼロよりは確実に外出時の安心感と外出できるという行動力は増幅すると思います。</p> <p>緩和ケアに移った時点でご本人はショックを受けることでしょう。もう治療手段がないと言われることに対するショックと、死が近いというショック。こんな時こそ支えが必要があると今体験しています。参考にさせていただければと思います。</p> | <p>本市では、在宅で療養する若年がん患者向けの補助を実施しています。がん患者さんに特化したタクシーの助成はありませんが、身体障害者手帳の交付を受けた方には交通機関の運賃割引等があります。在宅の重度の障害のある方に対してはタクシーの助成があります。</p> <p>今後もがんにかかったとしても生涯を通じて自分らしく生きることができる社会の実現を目指していきます。</p> | 今後の参考 |
| 147 | 緩和ケアフォローアップ研修会 (P68) | <p>この研修会は 誰の為の研修会でしょうか。在宅医療・介護の提供体制の整備の中の項目ですのでその関係者の研修会と思いますが、研修会の後はどのような効果が期待できますか。カウンセリング等の内容も含まれますか。</p> | <p>医師や看護師、ケアマネージャー等を対象とした研修会で、主としてがん患者の終末期における緩和ケアを医療、介護施設のみならず在宅においても提供できるよう実施するものです。</p> <p>患者本人の苦痛緩和や意思決定を支援すること、家族の介護、精神的苦痛を軽減することが見込まれます。</p> | 反映済み |

| 番号 | ご意見のタイトル | ご意見要旨 | 本市の考え方 | 計画への反映状況 |
|-----|----------------------|---|---|----------|
| その他 | | | | |
| 148 | その他 | 問題ない考える。 | ご意見ありがとうございます。 | その他 |
| 149 | その他 | 特に異論ありません。 | ご意見ありがとうございます。 | その他 |
| 150 | その他 | 病気の気とは心の有り方、心と体は連動している。心が体を支配していると思う。 | ご意見ありがとうございます。 | その他 |
| 151 | 新薬への早期承認 | 安全性が必要だが承認まで時間がかかりすぎる。 | ご意見ありがとうございます。 新薬への早期承認については、国の動向等を注視していきたいと考えております。 | 今後の参考 |
| 152 | がんに対するまっすぐな対応オープンな対応 | 計画に関して、上手く効果が出ている先進県の実情を積極的に取り入れて、どんどん効率を上げたらよいのではないか。 | ご意見ありがとうございます。 引き続き、先進県・市の事例を参考に検討していきます。 | 今後の参考 |
| 153 | 個人の体験 | 予防、治療、緩和などポイントを絞って有効な案を<個人の体験>スタイルでもよいので具現化してみたら？ | ご意見ありがとうございます。 がん経験者や有識者を委員とする協議会で、体験談も含めたご意見を伺いながら対策を進めております。 予防・早期発見と、患者等への支援にポイントを絞って取り組んでいきたいと考えております。 | 今後の参考 |
| 154 | 病院での待ち時間 | 総合病院での診察までの待ち時間が長時間にわたる場合があります。体調が悪い時には辛い。また、待つ場所ももう少しゆったりと待てるソファまたは簡易ベッドなどがあると体調の悪い時はありがたいと思います。 | ご意見ありがとうございます。 軽傷や日常的な病気の治療は診療所やクリニック、救急や重い病気の治療は大病院という役割分担を進めるための一つの方法として、紹介状なしで大病院を受診すると、特別料金が徴収されています。(初診7,000円以上、再診3,000円以上) また、地域がん診療連携拠点病院の指定要件として「がん患者の紹介、逆紹介に積極的に取り組む」ことが明記されています。 今後も、役割分担について注視していきます。 | その他 |
| 155 | 安楽死の研究 | 長寿になったため、ガンだけでなく、認知症になる人も増加の一途をたどっている。抗がん剤の副作用で苦しんだり、自分で何もできず、人に迷惑をかけしまっていることを心苦しく感じる時もあるだろう。悩んで鬱になったり、介護殺人のニュースもある。 そんな時、自分で人生の終止符をしたい、安楽死を望むと思う人もいるのではないかと思う。勿論、人道的にも法律的にも多くの問題はありますが、安楽死の是非も含めて、研究してほしいと願っています。 | ご意見ありがとうございます。 安楽死については、様々なご意見があると認識しております。 現時点で、当該計画において安楽死についての研究は予定しておりませんが、がん患者とその家族の心に寄り添うことができ、たとえがんにかかったとしても自分らしく生きることができる社会の実現を目指して取り組んでいきます。 | その他 |